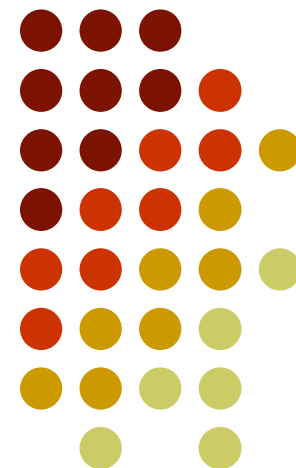


エコテクノ2016 オープンセミナー

宝酒造の4Rの取り組み

2016年10月14日
宝酒造株式会社



アジェンダ



1. 宝酒造の概要
2. 宝酒造の環境活動概要
3. 宝酒造の4 Rの取り組み
4. 社会との連携

宝酒造の概要



- **主な事業** : 酒類（焼酎・清酒・ソフトアルコール）、調味料（本みりん）、酒精（原料用アルコール）の製造販売
- **本社** : 京都市
- **売上高** : 192,025百万円（2015年度／宝酒造グループ）
- **従業員数** : 2,277名（2016年3月31日現在／宝酒造グループ）



宝酒造の環境活動概要

(1) 企業理念



< 企業理念 >

自然との調和を大切に
発酵やバイオの技術を通じて
人間の健康的な暮らしと
生き生きとした
社会づくりに貢献します。

宝酒造の環境活動概要

(2)「宝」は「田から」



宝酒造の「宝」の語源は「田から」にあります。
この「宝」を社名に戴いた当社は「自然の恵みを自然に返す」を企業精神に
環境への影響を念頭に置いた企業活動を続けています。

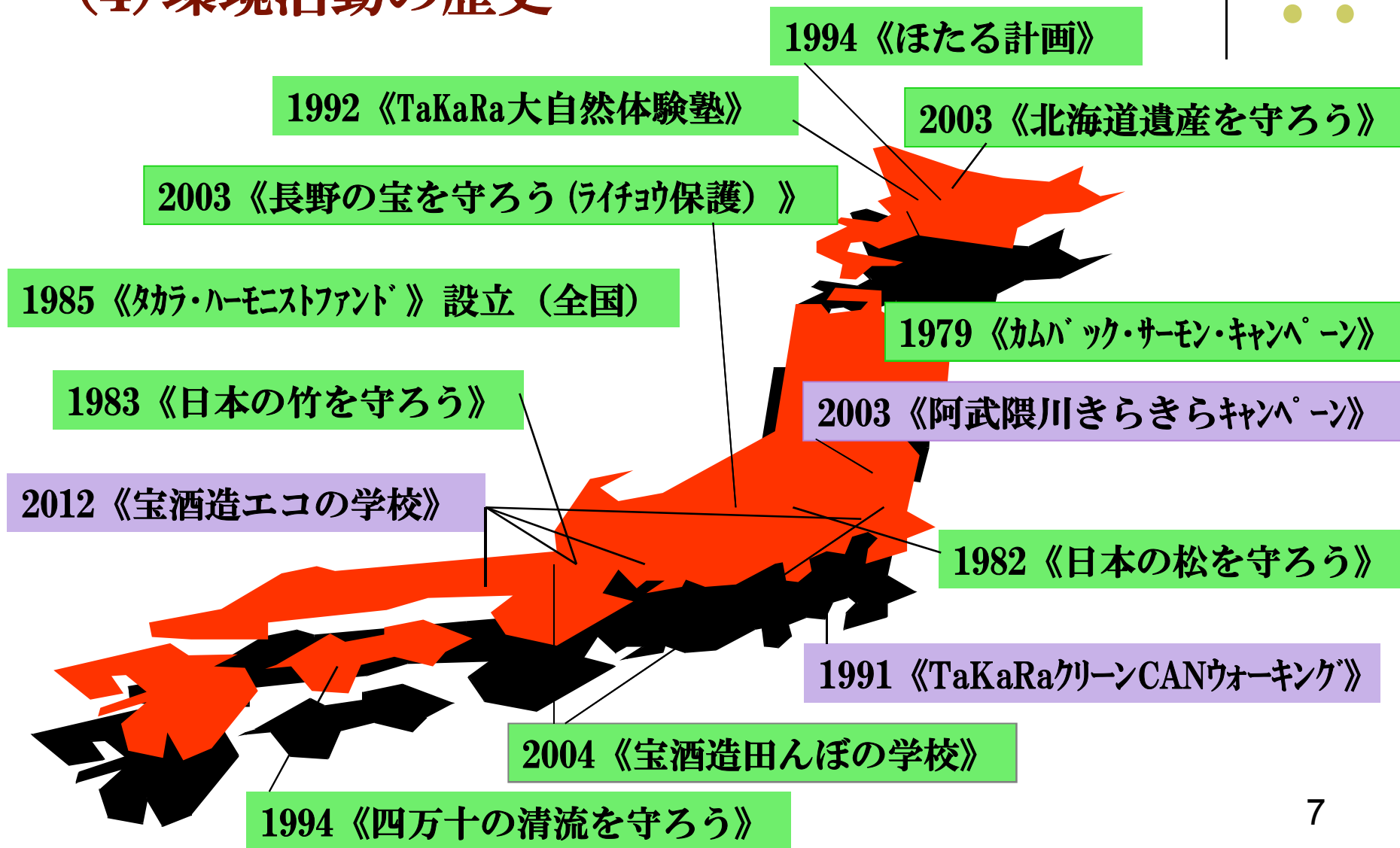
宝酒造の環境活動概要

(3) 環境活動の2本柱



宝酒造の環境活動概要

(4) 環境活動の歴史



宝酒造の環境活動概要

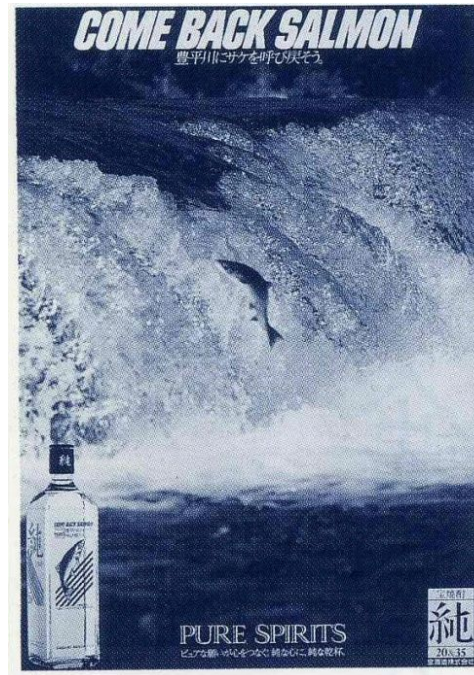
(4) 環境活動の歴史



＜カムバック・サーモン・キャンペーン開始(1979年)＞

※自然保護活動のはじまり

札幌豊平川にサケを呼び戻そうという「さっぽろサケの会」を中心とする
市民運動を多面的に支援



宝酒造の環境活動概要

(4) 環境活動の歴史



<日本で初めて、ステイオンタブ (SOT)を採用(1989年)>

それまでは、飲み口から外れる
プルタブが、

- ①ポイ捨てによるタブの散乱や
 - ②動物のタブ飲み込み被害
- が問題になっていた。



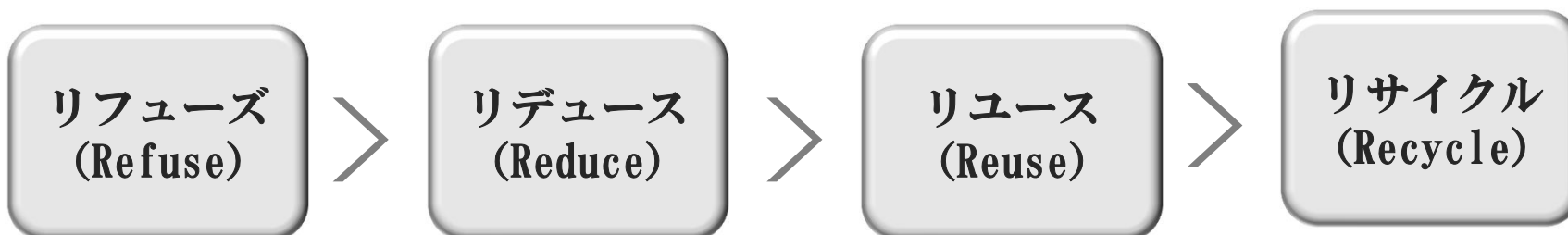
缶からタブ(引き金)が外れないステイオンタブの採用により、これらの
防止に役立った。

3. 宝酒造の4Rの取り組み

(1) 4Rの考え方



<4Rの優先順位>



<その他>

- 組織横断型の環境情報の共有化のための会議の開催
(環境部門、資材調達部門、商品開発部門)
- 業界団体等のガイドラインを考慮した環境に配慮した商品開発のための商品設計ガイドライン

3. 宝酒造の4Rの取り組み

(2) リフューズ (Refuse)



＜焼酎のはかり売り＞

1998年より、新たな容器を使用せず中身だけを購入する「焼酎のはかり売り」を開始しました。焼酎のはかり売りに際しては、1KLと200Lのはかり売り専用タンクを開発しました。工場での専用タンクに焼酎を詰めて販売店に直送します。お客様は家庭にあるペットボトルなどの空容器を販売店に持参し、販売店でその容器にお客様が必要な分だけ詰めて購入する仕組みです。



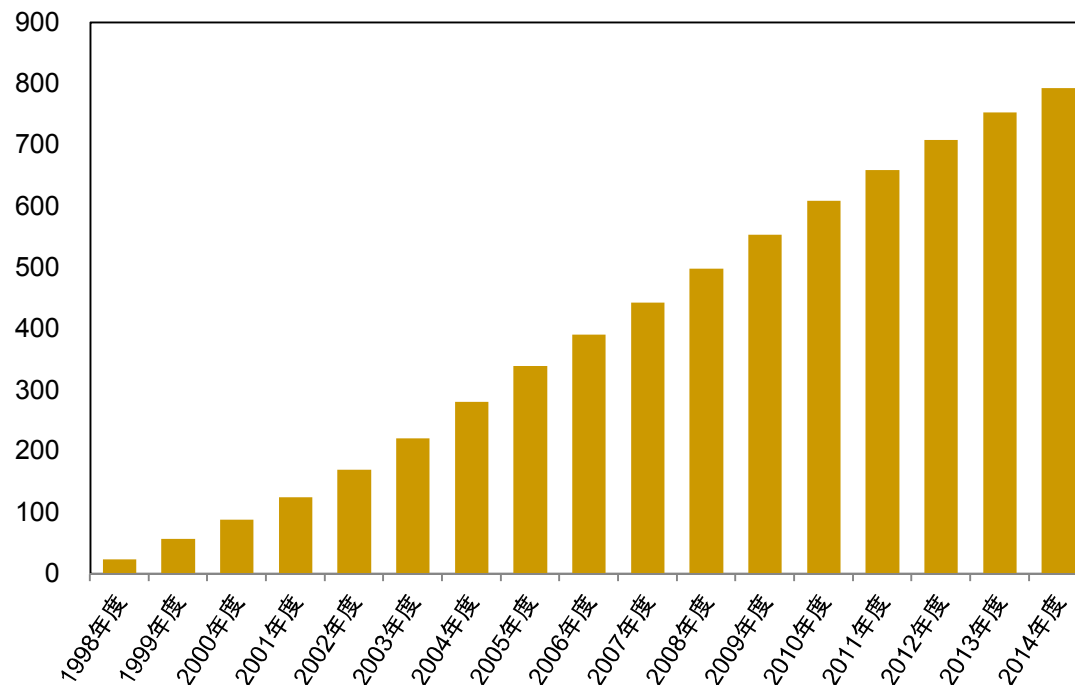
3. 宝酒造の4Rの取り組み

(2) リフューズ (Refuse)



1998年の開始以来2016年3月末迄で、**約830万本**のペットボトル(2.7Lペットボトル換算)と**約210万枚**の段ボールを節約につなりました。

焼酎のはかり売りによる容器の節約(累計本数)
(2.7KLペットボトル換算/単位:万本)



3. 宝酒造の4Rの取り組み

(3)リデュース (Reduce)



＜あらゆる容器の軽量化＞

1990年代より、びん・ペットボトル・紙パック・アルミ缶・スチール缶など全ての容器の軽量化に取り組んできています。

(例) 2004年には「タカラ有機本みりん」に、従来のものと比べ約3割、約100gも軽い“超軽量びん”を採用するなど、あらゆる容器の軽量化に継続して取り組んでいます。



＜最近のリデュース事例＞

- 2014年度 焼酎の4Lペットボトルを15.2%軽量化
- 2013年度 焼酎の720ml壺を2.6%軽量化
- 缶チューハイ500mlアルミ缶を5.1%軽量化
- 2012年度 焼酎1920ml焼酎ペットボトルの外函を10.9%軽量化 etc.

3. 宝酒造の4Rの取り組み

(4) リユース(Reuse)



<一升壺>

代表的なリターナブル壺のひとつである一升壺の使用量は**国内トップクラス**です。また、国内のリユース・システムを維持するためにP函出荷を堅持(一部例外あり)しています。

焼酎、清酒、本みりん
で一升瓶を使用



一升壺は、ビール壺、牛乳壺とならぶ代表的なリターナブル壺

3. 宝酒造の4Rの取り組み

(4) リユース(Reuse)



＜宝焼酎「純」等の720ml壺をリターナブル壺に変更＞

(背景) リターナブルびんの流通量の減少によるリターナブルシステム
崩壊の危機

2016年3月末までに購入・使用したリターナブルびん(洗い壺)は
累計**約9500万本**になります。



繰り返し使用する
ために、洗浄がし
易く欠けにくい形
状に変更

3. 宝酒造の4Rの取り組み

(5)リサイクル(Recycle)



＜「はずせるキャップ」を採用＞

本みりんや料理用清酒に、使用後の分別リサイクルが簡単にできる機能を持った「はずせるキャップ」を採用しました。



＜パウチパックを採用＞

清酒松竹梅「天」に、飲み終わったあとの分別・分解の必要がなく、簡単にそしてコンパクトにしてリサイクルに出せるパウチパックを採用しました。



4. 社外との連携

(1) 環境教育プログラム：宝酒造「エコの学校」



※行政や環境学習施設との共催で、環境学習イベント開催

■ごみ問題の現状やごみを減らす方法を伝えることを目的とした宝酒造「エコの学校」を開催

2012年より、小学生(3~6年生)とそのご家族を対象とした環境教育プログラム、宝酒造「エコの学校」を開催しています。

2016年度は、夏休みに京都市、神戸市、東京都江東区、名古屋市において各2回ずつ開催し、合計で約200名の参加者がありました。



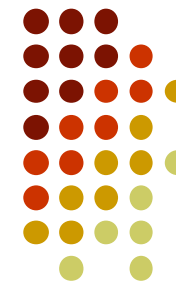
京エコロジーセンター(京都開催)



こうべ環境未来館(神戸開催)

4. 社外との連携

(1) 環境教育プログラム: 宝酒造「エコの学校」



※行政や環境学習施設との共催で、環境学習イベント開催

<1時間目>

環境学習施設見学をしながら自分たちのまちのごみ問題の現状を学びます。

<2時間目>

ごみを減らす方法について具体事例を手にしながら学びます。

<3時間目>

リサイクル体験としてお酒の紙パックのパルプを使って紙漉きを行いオリジナルはがきを作ります。

1 時間目 エコロジーセンター見学
家庭から出るごみの中身の変化やその処理費用などごみ問題の現状について学びます。



2 時間目 容器の4Rの授業
容器の3R(リデュース、リユース、リサイクル)に、リフューズを加えた容器の4Rについて学びます。



3 時間目 紙すき体験 紙パック容器からオリジナルはがきづくり
お酒の紙パックをリサイクルして、紙すき体験。かわいいオリジナルはがきができました。



4. 社外との連携

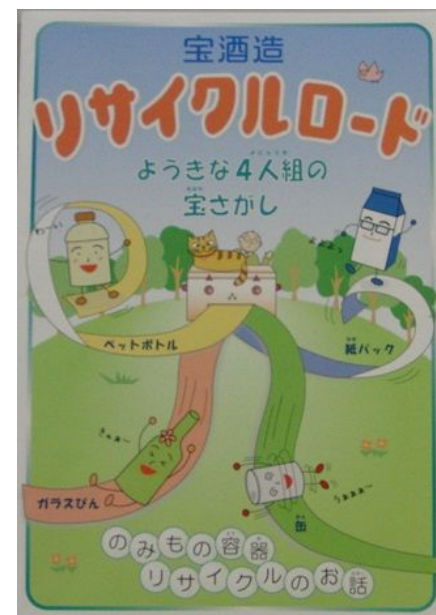
(2) 環境教育教材「宝酒造リサイクルロード」

※環境NPO法人と環境教育教材を共同制作

■子供向け環境教育教材「宝酒造リサイクルロード」を
無償配布

2004年にNPO法人日本環境倶楽部と共同で子供向けの環境教育教材、飲み物容器のリサイクルを紹介した絵本「TaKaRaリサイクルロード」を作成し、全国の小中学校の希望者や当社が出展する環境イベント等で無償配布を行っています。

隔年でデータを更新し、現在は第6版。発行部数は延べ**26,000部**で、2016年9月末までの累計配布部数は**24,000部**となっています。



例)「第40回全国育樹祭」(10/9)およびその併催行事である「全国緑のこどもサミット」(10/8)において、参加した子どもさんに700部配布。



4. 社外との連携

(3) 灘・伏見地区酒パックリサイクル循環システム



※関連する業界団体と連携し、容器の3Rを推進

容器の3Rを推進するためには、関連する業界全体での取り組みが不可欠。効率的なリサイクルシステムの構築や機関誌、ホームページ、展示会などを通じた啓発活動などは、関連する業界全体で取り組むことが効果的。

宝酒造では、ガラスびんやペットボトル、紙容器など、種々の容器について、関連する3R推進団体に加入し、団体の活動に積極的に参加しています。

宝酒造が加入している主な3R推進団体
ガラスびん3R促進協議会
PETボトルリサイクル推進協議会
アルミ缶リサイクル協会
紙製容器包装リサイクル推進協議会
酒パックリサイクル促進協議会

4. その他の取り組み

(3) 灘・伏見地区酒パックリサイクル循環システム

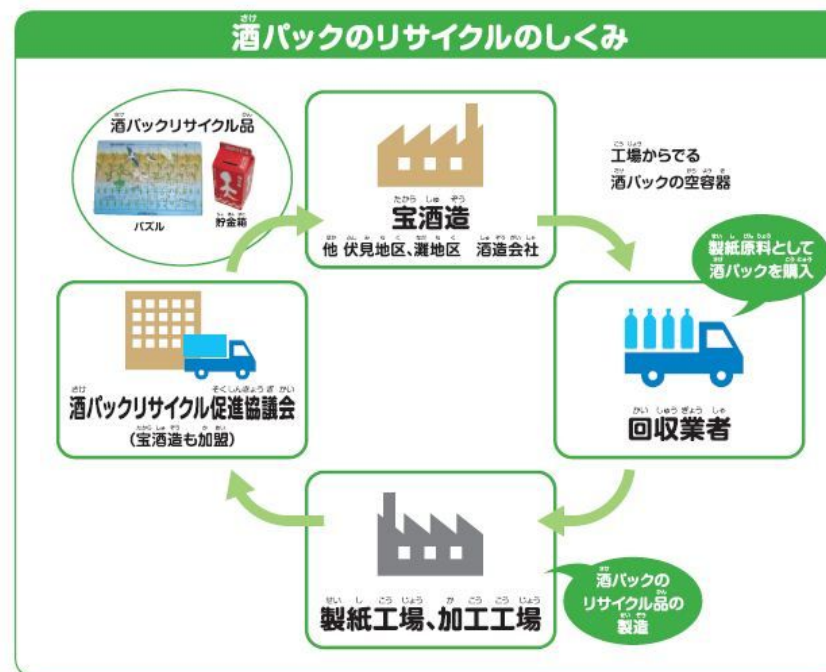


※業界団体と連携し、容器の3Rを推進

■酒パックリサイクル促進協議会に加盟し、同協議会が進める「灘・伏見地区酒パックリサイクル循環システム」に参画

酒どころである灘（神戸）および伏見（京都）地区の清酒メーカーが協力、各社各様に処理していた製造過程で発生する酒パックの損紙を共同で効率よく回収し再生紙化しています。

更に、このシステムに参加する各社は、排出した酒パックから生まれたリサイクル品を積極的に使用することにも努めています。



4. 社外との連携

(4) 容器のリユース活動を支援



※容器のリユース活動を推進する団体に注目、その活動を支援

■リユース食器のレンタル

お祭り／イベントの廃棄物の約70%が包装容器であるとの調査結果から、リユース食器のレンタル・洗浄（「リユース食器システム」）を推進



活動事例

【祇園祭ごみゼロ大作戦】

2014年より、京都・祇園祭において、夜店や屋台の協力のもと、使い捨て食器をリユース食器に切り替える活動を展開。2013年より大幅にごみを削減！

⇒行政、環境NPO、屋台などの事業者、観光客の協力によりごみを削減！

4. 社外との連携

(4) 容器のリユース活動を支援



※容器のリユース活動を推進する団体に注目、その活動を支援

■ 動画募金

動画募金を利用して、容器のリユース活動を広く伝えるとともに、容器のリユース活動費用として45万8570円を寄付した。寄付金は、「祇園祭ごみゼロ大作戦」の容器のリユースによるごみ削減活動に使用された。

宝酒造 動画募金
2016年2月1日~2月29日

容器のリユース活動支援
寄付総額 **458,570** 円
寄付先団体
NPO法人 地域環境デザイン研究所 ecotone (エコトーン)
宝酒造 「エコの学校」はこちら
あなたの寄付がイベントのごみ減量に!

動画募金は終了しました。
ご協力いただきありがとうございました！
あなたに代わって宝酒造が下記金額を寄付いたします。
寄付総額 **862,235** 円
ケロツ田

環境教育の推進支援
寄付総額 **403,665** 円
寄付先団体
NPO法人 アサザ基金
宝酒造 「田んぼの学校」はこちら
「クリック募金・動画募金」の過去の実績はこちら

動画募金のアンケートにご協力ください

祇園祭ごみゼロ大作戦2016 実施報告書

紙園祭ごみゼロ大作戦実行委員会
運営事務局：NPO法人アサザ基金/NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone
京都府中川区三本通西丸人町5番5-1
K0X 鳥丸ビル2階 Flag三本
TEL: 075-744-0590 FAX: 075-744-0949 MAIL: info@gomizero.jp



ご清聴ありがとうございました